

図書館だより

vol.32 No.2

北海学園大学附属図書館報 第32巻2号(通巻194号) 2010.7.9

Bulletin of the Hokkai-Gakuen University Library



2 新山一範
一旦切った舵はなかなか戻らない？

3 吉田文夫 板垣 暁
私が薦めるこの1冊

4 ブックハンティング

6 図書館レポート 2010

8 アルバイトーク
編集後記



一旦切った舵はなかなか戻らない？

文＝新山一範

(にいやま かずのり／法学部教授)

船のことで、ましてや政治の話でもない。この4月から保険法（平成20年法律56号）が施行されている。関係図書は図書館にもあるが、マイナーな分野なので、教科書の類はまだほとんど改訂されていない。この保険法で、改正前商法の解釈上の問題に立法的に決着を付けているものがある。『図書館だより』にはいささか技術的すぎると思うが、次のような問題である。

XはYの加害行為により100の損害を被ったが、Xにも3割の過失があったとしよう。過失相殺によりXのYに対する損害賠償債権額は70 ($100 \times (1 - 0.3) = 70$) となるが、Xと損害保険契約を締結していた保険会社Zがこの事故の保険金60をXに支払った場合、Zは、Xから、Yに対する賠償債権70のうちいくらを取得することになるか（改正前商法662条・保険法25条は、この被保険者Xから保険者Zへの権利の移転を定めるものである。）、という問題である。学説は、①てん補額（保険金）60の限度で取得するとするもの（絶対説・限度主義）、②てん補額60の損害額100に対する割合（または保険金額の保険価額に対する割合）に応じて42取得するとするもの（相対説・比例主義）、③てん補額60と賠償債権額70との合計が損害額100を超える限度で、つまり30取得するとするもの（差額説・損害額超過主義）に分かれていた。最高裁は、自動車保険の車両保険金に関する事件で②の相対説を採り（最判昭和62年5月29日）、また人身傷害補償保険金に関する事件では、①の絶対説と同様の処理をした（過失相殺後にてん補額を控除した）原審判決を破棄した（最判平成20年10月7日）。この保険者の代位の範囲に関する問題で、保険法25条1項2号は、③の差額説を採用している。

ところで、商法ではなく、社会保険法・損害賠償法分野では（社会保険関係の法規にも、改正前商

法662条と同様に保険者の代位の規定がある。）、社会保険給付を受けた被害者の加害者に対する賠償債権額の算定に際して、過失相殺をしたうえで保険給付を控除すべきか（控除前相殺説）、保険給付を控除したうえで過失相殺をすべきか（控除後相殺説）、という問題が、40年ほど前から下級審判決に出現している。先の設例でいえば、XのYに対する賠償債権額が10 ($100 \times (1 - 0.3) - 60 = 10$) となるか（控除前相殺説）、28 ($((100 - 60) \times (1 - 0.3) = 28)$) となるか（控除後相殺説）、ということである。この問題に関して最高裁は、労災保険の事件で控除前相殺説を採っている（最判平成元年4月11日。この判決には、相対説・控除後相殺説を採る裁判官の反対意見が付されている。）。

さて、お気づきになったであろうか。実は、保険代位の範囲に関する問題と過失相殺と控除の先後関係の問題とは同一の問題の表と裏であって、絶対説と控除前相殺説、相対説と控除後相殺説とでは、問題の捉え方またはその表現は異なるが、同じ結論になるのである。このことは、社会保険法の専門家によっても夙に指摘され、社会保険の問題でも、過失相殺と控除の先後関係の問題としてではなく、保険代位の範囲の問題として捉えるべきであるとする論文も多くある。とはいえ、そこで私保険の問題と対比されることは少ない。

かように商法の私保険法はマイナーな分野で、図書館に蔵書が少ないのも致し方ないと思わないでもない、という話は措いて、この保険代位の範囲に関する問題が、社会保険の方で、全く別の問題であるかのように扱われ続けるのは、なぜなのか、私保険側から眺めて不思議に思っている。大学院生にこの疑問をぶつてみると、院生は即座に答えて、「一旦切った舵は、なかなか戻らない」と。おそらく、保険法施行によっても舵は戻らないのであろう。

私が薦める
この1冊

小川洋子著
『博士の愛した数式』（新潮文庫、2004年）

文＝吉田 文夫

（よしだ ふみお／工学部教授）

「階乗」、「 $\sqrt{\quad}$ 」、「虚数」、「素数」、「友愛数」、「完全数」、「フェルマーの大定理」、「ネピアの数」、「オイラーの公式」、……。これらは数学分野で知られている用語ですが、ここでは数学書に関する話ではありません。実は、上記の用語がれっきとした文学小説のなかに登場していて、小説のテーマの重要な要素になっています。そのいくつかは、数学に無縁の人でも1度や2度きつとどこかで見たり、聞いたりしたことがあるでしょう。

《ほとくの記憶は80分しかもたない》というフレーズの方がピンと来るに違いありません。原作をもとに数年前に映画化されたことで記憶に新しいと思います。ちなみに、著者の小川洋子さんは芥川賞をとっている純文学作家です。

この小説には数学者の博士、家政婦（小説の語り主）と彼女の10才になる息子が登場します。博士の記憶力は17年前の交通事故が原因で停止し、博

士にとっての現在は常に17年前のままという設定で、新しい記憶は80分の経過とともに失われてしまいます。家政婦とその息子（博士にルートと名づけられる）と博士との特異な関わりの生活が始まります。その生活のなかで、博士の素数についての数式が感動的な言葉として語られていきます。例えば、2つ自然数のそれ自体を除いた約数の和が互いの数になる「友愛数」、元阪神江夏投手の背番号28の「完全数」や「オイラーの公式」などです。

博士の数式はほかにもたくさんあって、作者自身の数学への思いと想像力が強くにじみ出た作品になっています。数学に少なからず関心のある方、とくにこれから数学を学ぼうとする学生にも、映画とともに是非読んでみることをお勧めします。数学に対する考え方、感じ方のあらたなる変化が期待できる一冊です。

私が薦める
この1冊

北村薫著
『六の宮の姫君』（創元推理文庫、1999年）

文＝板垣 暁

（いたがき あきら／経済学部講師）

本書の著者である北村薫は、第141回直木賞を受賞したミステリー作家です。著者の代表作に、日常のちょっとした不思議を題材にしたミステリーであり、主人公である〈私〉の成長物語でもある〔円紫師匠と私〕シリーズがあります。本書はその第4作目にあたります。

大学4年生になり出版社でのアルバイトを始めた〈私〉は、文壇の重鎮から、芥川龍之介の短編「六の宮の姫君」に関する言葉―《あれは玉突きだね。……いや、というよりはキャッチボールだ》―を聞きます。卒論のテーマに芥川を選んでいた〈私〉はその言葉の意味を探っていきます。

著者北村薫は、その文章表現の美しさと同時に、謎解きの論理構成の見事さを評価されている作家です。本書はその魅力が詰まった珠玉の一冊となっています。加えて、本書は、著者が自身の卒論をベースに書いた

作品である、という面白い特徴をもっています。そのため、本書は上質のミステリーであると同時に学問の面白さを教えてくれる作品でもあるのです。これから卒論やゼミ論を書こうとしている方にはその参考書となるでしょう。また、それ以外の方にも、疑問に思ったことや不思議に思ったことを調べていく、そしてそれを解いていく面白さを教えてくれる一冊になると思います。大学の勉強の仕方がわからないと悩んでいる方、大学の勉強がつまらないと感じている方は是非手に取ってみてください。

なお、同書を含め、〔円紫師匠と私〕シリーズは著者の魅力が遺憾なく発揮された素晴らしい作品群です。ミステリー好きな方、小説を読むことが好きな方、本書を読み始めてちょっと敷居が高いと感じた方は、是非第一作目の『空飛ぶ馬』から読んでみてください。

ブックハンティング!!

図書館では昨年度より、ブックハンティングを行っています。これは何かと言いますと、図書館では選ばれなかったり、見落としてしまっているような本でも、学生に興味や関心のある本を直接書店で選んでもらい、図書館で利用できるようにしよう、ということで始まった企画です。昨年度は秋と冬とで2回行い、今年度もつい先日、第1回目を終えたところです。今年度については年内にもう1回(秋～冬頃) 行う予定でいます。

簡単ではありますが、昨年度の実績を報告いたします。

2009年度ブックハンティング

第1回

日時 2009年10月16日(金) 10:30~11:45 (選書時間60分)

場所 紀伊國屋書店 札幌本店

参加者数 13名(教職員含む)

冊数制限 無制限

総購入冊数/金額 473冊/¥1,106,008



第2回

日時 2010年2月3日(水) 13:00~16:00

場所 三省堂書店 札幌店(ステラプレイス5F)

参加者数 11名(教職員含む)

冊数制限 1人30冊

総購入冊数/金額 208冊/¥411,273

ブックハンティング終了後、学生に選んでもらった本は納品された後、OPACで検索できるようにデータの登録などの処理がされてから、図書館の書棚に配本されます。かなりの冊数があるので、購入した全ての本が揃うのに1ヶ月ほどかかってしまいますが、そこは楽しみに待っていただいています。



※掲載されている写真は「2010年度 第1回ブックハンティング」の風景です。

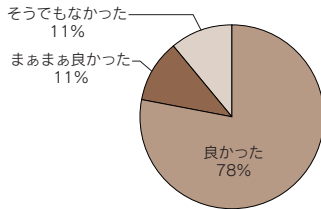
ブックハンティングアンケート

(09年度 第2回ブックハンティング)

I.

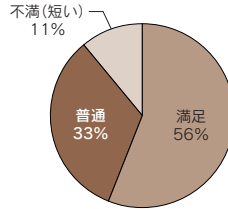
◆参加して良かったと思いますか？

良かった 7人
まあまあ良かった 1人
そうでもなかった 1人



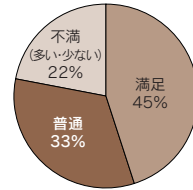
◆選書時間について

満足 5人
普通 3人
不満(短い・長い) 1人(短い)



◆選書冊数について

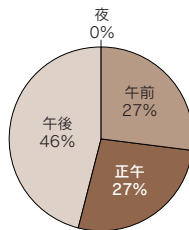
満足 4人
普通 3人
不満(多い・少ない) 2人
(多い1：少ない1)



II.

◆次回も参加するなら、どの時間帯が良いですか？(複数選択可)

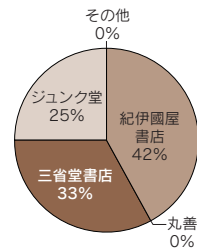
午前 3人
正午 3人
午後 5人
夜 0人



III.

◆次回も参加するなら、どの書店が良いですか？(複数選択可)

紀伊國屋書店 5人
丸善 0人
三省堂書店 4人
ジュンク堂 3人
その他 0人



こんな本が選ばれています

書名	出版社名	書名	出版社名	書名	出版社名
フージーズ	英治出版	極北に駆ける	山と溪谷社	映画館のつくり方	AC Book
島で空を見ていた	アマーバブック	処女峰アンナプルナ	山と溪谷社	フィルム・スタディーズ事典	フィルムアート
インバラの朝	集英社	晴れのち曇り曇りのち晴れ	白山書房	家づくりのすべてがスラスラわかる本2010	エクスマナレッジ
道の先まで行ってやれ!	幻冬舎	ロッキーの森から	徳間書店	だから「いい家」を建てる。	大和書房
インビクタス	日本放送出版協会	本のある山旅	山と溪谷社	数学10大論争	紀伊國屋書店
コーヒーの基礎知識	樫出版社	星と嵐	山と溪谷社	現代世界の紛争解決学	明石書店
一步を越える勇氣	サンマーク出版	新編・白い蜘蛛	山と溪谷社	現代のイスラム金融	日経BP社
狩猟サバイバル	みすず書房	確かに生きる	クリタ舎	金融工学ハンドブック	朝倉書店
雪山100のリスク	山と溪谷社	冒険家	実業之日本社	脳と心的世界	星和書店
それからの森	講談社	ゴローのヒマラヤ回想録	ナカニシヤ出版	消費社会の魔術的体系	明石書店
日本観光ガイド	光文社	子づれの山	白山書房	ダライ・ラマ実践の書	春秋社
ブルー・セーター	英治出版	精神医学の古典を読む	みすず書房	チェチェン民族学序説	高文研
マッターホルン北壁	山と溪谷社	直江兼続伝	慧文社	定本坂本龍馬伝	新人物往来社

※これらはほんの一部です。

今後の予定につきましては、詳細が決まり次第、掲示等でお知らせいたしますので、興味のある方はぜひチェックしてみてください。図書館をうまく使うチャンスですよ！

図書館レポート

Library Report

2010

—レファレンス・サービス関係統計—

●学内レファレンス業務

	教職員	(前年度対比)	学 生	(前年度対比)	その他	合 計	(前年度対比)
文献所蔵調査	26	-48	50	-24	4	80	-105
事 項 調 査	0	-3	0	-1	1	1	-13
利用指導	0	-3	3	-2	0	3	-1
そ の 他	0	-1	0	±0	0	0	-3
合 計	26	-55	53	-27	5	84	-122

●相互協力業務

1. 複写

	国 内	前年度対比	国 外	前年度対比	合 計	前年度対比
依 頼	503	-4	2	±0	505	-4
受 付	1,382	+45	0	±0	1,382	+45
合 計	1,885	+41	2	±0	1,887	+41

2. 貸借

	国 内	前年度対比	国 外	前年度対比	合 計	前年度対比
依 頼	134	+16	0	-2	134	+14
受 付	334	-32	0	±0	334	-32
合 計	468	-16	0	-2	468	-18

3. 文献所蔵調査

	国内	前年度対比	国外	前年度対比	合計	前年度対比
依頼	3	-35	0	±0	3	-35
受付	14	+2	0	±0	14	+2
合計	17	-33	0	±0	17	-33

4. 他館への利用願

	国内	前年度対比	国外	前年度対比	合計	前年度対比
依頼	73	-12	0	±0	73	-12
受付	33	+6	0	±0	33	+6
合計	106	-6	0	±0	106	-6

—カウンター・サービス関係統計—

	2007年度	2008年度	2009年度
入館者数	336,528人 (1日当り 1,224人)	349,663人 (1日当り 1,253人)	393,124人 (1日当り 1,384人)
貸出者数	延べ31,940人 (うち学生 24,731人)	延べ31,877人 (うち学生 28,612人)	延べ29,728人 (うち学生 24,287人)
学生一人当りの貸出回数	2.7回	3.2回	2.7回
貸出冊数	58,896冊 (うち学生 40,538冊)	59,477冊 (うち学生 52,432冊)	52,577冊 (うち学生 40,627冊)
学生一人当りの貸出冊数	4.5冊	5.8冊	4.5冊
PCブース利用者数	延べ5,008人	延べ3,408人	延べ2,503人
AVブース利用者数	延べ6,180人	延べ5,069人	延べ4,577人

平成22年3月時点在籍者数: **8,883名**

開館日数: **284日**

※本館と工学部が開館日数が異なるが、1日当りの入館者数は、
本館と工学部の入館者総数を本館の開館日数で割ることで計算することとする。



図書館との出会い

文= 宋 林

(そう りん)

大学院 文学研究科 日本文化専攻

図書館のアルバイトを始めてから自分の研究生活がもっと楽しくなりました。今年の4月に図書館との出会いがあって、カウンター業務をすることになった文学研究科日本文化専攻修士1年の宋林です。去年の9月に中国から北海学園大学に留学して、日本の学校で勉強することは初めてで、更に図書館で働くのは私にとってはもっと驚くことでした。

最初は仕事がうまくできるか、図書利用者とのコミュニケーションがうまくできるかとの様々な不安が頭の中でいっぱいでした。しかし、職員や先輩たちから優しく丁寧に教えていただき、意外と早く慣れ、スムーズに対応できるようになりました。この前、利用者から「日本語が上手ですね、外国人とは思わなかったです、頑張ってくださいね。」と言われた時、最も嬉しかったです。

現在、大学院で日本人と中国人のコミュニケーションスタイルについての内容を研究しております。図書館で働きながらいろいろな日本人の方と出会うことができ、本当に自分の研究に役に立つと思います。図書館にいらっしゃる学生さんと社会人はどんなコミュニケーションの心理、行動を持っているか、ポジティブスタイルなのか、ネガティブスタイルなのかなどを自分の目で観察するチャンスがあってよかったです。自分自身も積極的に笑顔でコミュニケーションを行うようになって自分の研究をもっと面白くしたいと思います。これからもカウンター業務をきちんとした上で、論文に関する本や専攻研究を分析しながら仕事の経験を生かして研究していこうと思っております。

編集後記

最近、落ち込んでいるとか、どうもマイナス思考になっている方に、ぜひ読んでもらいたい本を紹介します。

「いじめられっ子のチャンピオンベルト」です。

(請求記号：788.3/NAI 所蔵ID：0748256)

みなさん、内藤大助という人物を知っていますか？

ご存知の方も多いと思いますが、北海道の豊浦町出身のプロボクサーで元世界フライ級チャンピオンです。

彼は、幼いころいじめにあっていました。その後、彼はボクシングに出会います。いじめっ子に仕返ししたくて始めた

ボクシング。しかし、ボクシングを通して様々な経験をしていくなかで、身体が鍛えられたのはもちろんですが、心の強さも手に入れていることに気づく……そんなお話です。

いじめの体験談、タイトルマッチのエピソード、日本中が注目した亀田大毅戦の正直な感想、家族のありがたさや努力の大切さなどを、内藤選手らしく真っすぐ書いたおすすめの本です。

じ〜んときますよ。